

認知症に関する活動計画(概要)

島根県作業療法士会では、令和8年度も引き続き好評であった対面型の多職種での研修会の開催により、多職種連携に必要な顔が見えるつながりをつくることに重点をおいて活動していく予定です。また、認知症の人と家族の会との連携の在り方を検討していく予定です。

多職種での合同研修会「多職種連携によるBPSDの対応」(対話型研修会)

島根県における認知症高齢者数は、令和7年は42,400人(県人口の約7%)、令和22年には45,800人に増加することが見込まれています。認知症ケアにおいて、行動・心理症状(BPSD)への対応についてはチームで関わるのが重要であり、看護・介護職やケアマネジャーなど多職種での認知症ケアのスキル向上を目的に実施する予定です。令和7年度の開催実績として、認知症看護認定看護師と連携して研修会を開催しました。看護の視点から多職種連携についての講義の後、グループワークにより参加者の現場での困りごとの解決の糸口が得られる機会になりました。

令和8年度は、島根県立大学、認知症の人と家族の会島根県支部と連携して研修会を計画しています。

島根県作業療法士会 認知症の作業療法委員会研修会

認定看護師と一緒に考える！
チームとしての認知症のある方
への関わり方
 ～認知症看護認定看護師の視点から～



認知症の人と家族の会との連携事業

令和7年10月12日(日)認知症の人と家族の会島根県支部が行う本人交流会事業にサポートスタッフとして参加しました。当事者のご家族が安心して一緒に楽しめるように、温泉内の移動や展望台へのリフトの乗降などの支援を行いました。ご本人、ご家族ともに交流を通じてリフレッシュできる機会に立ち会うことができ、私たち専門職にとってもよい機会になりました。



訪れた三瓶山展望台のリフトの様子

RUN伴しまね への参加(松江・出雲・大田・浜田・益田地区)

県士会員が当事者や地域住民、他職種と協働して「認知症になっても安心して暮らせる町」を目指して活動しています。認知症の人と家族の会や行政と連携して研修会への参加やイベントの企画を行っています。

